

サーチャージ導入 経営の健全化を図る

中田商事 三重県で初

成十八年度の全国平均価格である九十二円／リットルに設定。現軽油価格の上昇幅に応じて運賃が変動する。また、基準価格より下降した場合には廃止となる。

中田社長は、「この三か月で原油先物相場が三割も上昇している。この先もどうなるか分からず、経営者にとってこれほどのリスクはない。それを回避するにはサーチャージしかない」と、他社に率先して導入した動機を説明。すべての荷主にサーチャージに基づいた運賃を提示するという。

「今までできなかつた自社のリスク要因を、行政のバックアップで荷主に転嫁できる最後のチャンス」と話す中田社長。自社だけでなく協力会社にもサーチャージ料を支払うことで、「トラックの調達で（サーチャー

（加藤 崇）

中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）は五月二十二日、燃料サーチャージ運賃の届け出を県内で初めて三重運輸支局に提出した。五月一日にさかのぼって適用する。

軽油価格の変動に応じた調整金を、荷主の理解のもとに吸収することによって経営の健全化を図る。設定した料金を適用する地域は全国で、基準軽油価格を平